

チャレンジデーボッチャ大会競技規則

1 設備と器具

(1) コート

コートは、バドミントンコートを使用し、ボッチャコートを作成する。

(2) ボール

1セットは、赤ボールが6個、青ボールが6個、白色のジャックボールが1個である。

※マイボールの使用も認める。

2 ゲーム方式

(1) チーム構成は、3人1組とする。

(2) 競技は団体戦とし、予選リーグ、決勝トーナメントとも2エンドとする。

※1エンドとは、両チームが全てのボールを投げ終わったときとする。

(3) 1人が2球の持ち玉となるが、投球順については規制しない。

3 勝敗

(1) 各エンドの得点を加算し、合計点がより多い方のチームを勝ちとする。

同点の場合には、タイブレイクにより決定する。

(2) タイブレイクは、ジャックボールをクロスに置き、ジャンケンで先攻・後攻を決定する。

(3) 投球は代表者1投とし、ジャックボールに一番近いチームの勝ちとする。

(4) タイブレイクの得点は加算しない。

(5) 棄権又は、試合開始時間より5分経過しても対戦チームがいない場合、相手チームの勝利となる。

4 ゲームの展開

(1) ジャンケンで先攻（赤ボール）・後攻（青ボール）を決める。

(2) 1エンドは赤の1番の人が、白のジャックボールを投げる。

ジャックボールが無効な場合は相手ボールとなり、青の1番がジャックボールを投げる。

(3) 赤1番→青1番と投げた後、次はジャックボールに近いボールが赤だったら青が投げる。

以下、同様にジャックボールに一番近いボールでないチームが投げる。

(4) スローイングボックスの中であれば、どこから投げてもよい。

(5) 以下の場合にはファールとする。ただし、ファールは注意をすることとし、ペナルティーとしない。

①線を越えて又は、踏んで投げた場合

②審判の指示板が出される前に投げた場合

(6) 投げたボールやぶつけられたカラーボールがコート外に出た場合、アウトとなり出たボールは直ちに所定の場所に置く。ジャックボールがぶつけられてアウトとなった場合はクロスに置く。

- (7) 両チームが全てのボールを投げ終わるとエンド終了となり得点をつける。
 得点は、ジャックボールの一番近くに赤（青）ボールがある場合は、ジャックボールとジャックボールから一番近くにある青（赤）までの距離を半径にして、ジャックボールを中心に円を描いて、その中に何個赤（青）ボールがあるかを判定する。
 赤ボールが2個あれば、2対0で赤の勝ち。
 ジャックボールから赤と青が1個ずつ等距離にあれば、1対1の引き分け。
 赤2個と青1個が等距離にあれば、2対1で赤の勝ちとなる。
- (8) 審判がジャックボールを取り上げた時点でエンドが終了する。
- (9) 1エンドが終わったら、次は青が先攻となり同じようにゲームをする。

※新型コロナウイルス感染症対策として、一部ルールを変更しています。

ポッチャコート図 (イメージ)

